

10,000人の防災訓練!

災害救助用アルファ化米の試食—インスタントご飯調理体験をしよう!

法人本部

10月から12月にかけて横須賀市障害関係施設協議会が主催となり、賞味期限間近な災害備蓄品(11,300食)を活用し、コロナ禍でもできる新たなチャレンジを行いました。市内外60団体(約96事業所)が参加し、多くの人が一室に会さず「違う時間・違う場所」で、「様々な活動団体の方、事業所(施設)・企業単位」で、災害備蓄品の「調理・試食」を行いました。また、この企画

は国連が掲げているSDGsの「食品ロス」を考える取り組みにつながっていくことを願っています。

(12月3日で配布終了)

総合施設長:森下浩明



沢山の量にビックリ!



8Lのお湯を注ぎます...



50食出来上がり!



メンバーさん試食

おいしい!

新入職員研修会

令和2年10月30日(金)、今年度第1回目の「新入職員研修会」がライブゆうにて行われました。メンバーさんの『人生支援』を目指しているみなと舎の取り組みやその方向性を学ぶため、飯野雄彦理事長と森下浩明総合施設長よりご講義をいただきました。

他職種の職員とともに、自分自身を振り返りながら、講義での学びを踏まえて考えたこと、今までのメンバーさんとのエピソードやそれに対する各々のメンバーさんへの温かい思いなどを共有でき、とても貴重な時間となりました。

ライブゆう事務スタッフ:石井麻莉子



後援会のご案内

一般会員 一口 2,000円 / 年
法人会員 一口 5,000円 / 年

振込先: 社会福祉法人みなと舎後援会

郵便振替口座: 00270-8-16494

銀行振替口座: かながわ信用金庫武山支店 普0256371

「求人内容・応募方法・採用試験等」の詳細については「社会福祉法人みなと舎ホームページ」をご覧ください。

<http://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ: 山本・森下 TEL: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912



社会福祉法人「みなと舎」広報誌



社会福祉法人
みなと舎

SSKU たまごむし

春はくる!!

社会福祉法人「みなと舎」後援会 編集責任者 瀧川郁子
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912



玉入れ競争



走る!運動会!



ブロッコリー収穫しました!



みんなでミニゲーム



お楽しみのお菓子をGET★



きまってる??



HAPPY HALLOWEEN
TRICK OR TREAT

「ゆう」の日常 yuu's daily life

「新型コロナに負けるな!」気持ちを込めて、鯉のぼりを掲げてから半年以上。ゆうの日常は、ソーシャルディスタンスを守り、密を避けながら活動を楽しんできました。

「潮干狩り」では、新聞紙の海の中から大きな「あさり」がゴロゴロ。手作りの熊手で、奮闘しました。「離れていても糸電話で繋がっちゃおう!」コップの中から聞こえる声に、驚いたり、笑ったり!身体を動かす事も忘れていません!

「ミニ運動会」では、外の空気を吸いながら、走る、走る本気

のりり。「大丈夫?」とメンバーさんの応援を受けながら、玉入れでも盛り上がりました。二階のバルコニーからの応援も熱が入りました。

「ハロウィンパーティー」もみんなで集まらなくても楽しめちゃう!各場所では、それぞれミニゲームを楽しんだ後、お菓子をゲット!はじけるような笑顔は、コロナ禍をしばし忘れられます。これからもメンバーさんとスタッフで知恵をしばり、厳しい環境を乗り越えて、「ゆう」の日常は、前へ前へと進みます。

ゆう支援主任: 古谷妙子



●「ゆう」の日常

●ライブゆうNEWS

秋のハロウィンパーティー
ライブオンキング上映会
「ラララライブオンキング」
お芋掘り

●合同防災訓練

ケアホームはなえみ &
ケアホームはなあかり

●自分の防災力を高めよう
ライブゆう

●10,000人の防災訓練!

災害救助用アルファ化米の試食
—インスタントご飯調理体験を
しよう!

●新入職員研修会

103号

2021年2月

ライフゆうNEWS

秋のハロウィンパーティー

秋のハロウィンパーティーは、密を避けるために二部構成にして行いました。

一部は、歌の力で元気なパワーが目的で、キョンシーの仮装やお札まで配る本格的なハロウィンカラオケパーティーを開きました。二部は、骸骨の的あてゲーム、目玉の玉入れ、千本引きなどのゲーム大会とお化け屋敷、撮影会を企画しました。当日は、こっそり驚かすスタッフもいましたが、予想に反してメンバーさんはニコニコでした。インスタ映えの写真ブースでは、メンバーさんはハロウィンらしい髪飾りやカチューシャをつけておしゃれをしました。お楽しみの一つであるハロウィンランチは



「事件現場のミニハンバーガー、血の池トマトスープ、グラタン・ジャック・オ・ランタン、一つ目お化けのモンブラン」ネーミングがナイス!味も最高で、紫芋で手作したモンブランはクリームたっぷり一口食べたらみんな笑顔になりました。

運動会が今年では出来ませんでした、みんなで考えて手作したパーティーは大いに盛り上がり、メンバーさんの沢山の笑顔を見ることができました。

ライフゆう看護スタッフ：平形さとみ



Halloween



ライフオンキング上映会
ラララ♪ライフオンキング

コロナ禍の中で初めての取り組みとして、ソーシャルディスタンスを保ちながらの上映会を企画しました。メンバーさんもスタッフもライフオンキングを上演したことを振り返り懐かしみ、更に今後も取り組みたいという意欲に繋がったように思います。

新入所されたメンバーさんへのメーキャップや衣装選

び、フォトスポットでの撮影会などは賑やかに盛り上がり、上演出来なくても非日常の時間を楽しむことが出来ました。

当日の昼食は、もちろん「サバナプレート」で、アフリカを堪能しました。

ライフゆう看護主任：藤田正子

Movie



Autumn

お芋掘り

春のじゃがいも掘りに続き、秋のお楽しみはさつま芋掘り。国際村内の畑にお邪魔して沢山のさつま芋を頂きました。自らスコップを手に嬉しそうなお顔!!

掘ったさつま芋は、おやつやお料理で美味しくいただきました。

ライフゆう支援主任：本間由香



合同防災訓練

ケアホームはなえみ&ケアホームはなあかり

9月にケアホームの防災訓練が行われました。

今までの訓練では、それぞれのケアホームで、主に夜勤者が2名ずつ、いろいろな災害を想定して、雨戸の自動開閉の仕方や発電機の使い方なども含めて訓練してきました。が、今回は、一方のケアホームが無事と仮定して、そちらの方にもう一方のケアホームのスタッフとメンバーさん全員が避難するという訓練を試みました。ヘルメットや防災頭巾をかぶり、スタッフが防災用品の入った大きなリュックを背負って、皆、真剣にタイムを計ってスピーディに移動、避難の訓練をしました。メンバーさんとても協力的でした。災害が実際に起きないことを祈りつつ、いざその時が来たら訓練したことが必ず何かの役に立つはず。無駄になることはないですね。皆さん、お疲れ様でした。



ケアホームはなあかり支援主任：鴨田奈奈枝

自分の防災力を高めよう!

ライフゆう

12月中旬に、第2回法人内全職員研修を講師の方をお招きしての研修ではなく、スタッフの防災力、災害時の自助力の向上を目的に4ブースに分かれての体験型で行われました。ライフゆうでは参加者はヘルメットか防災頭巾をかぶり、各ブースをまわってもらいました。



ブース1

「安全に初期消火しよう! 危ない火災の煙から身を守ろう!」

3つの動画(火災・初期消火・ライフゆう防火扉)を見て、消火器の使い方についての質問に答えてもらいます。その後、ライフゆうの間取り図を見ながら館内の消火器がどこにあるか確認してきてもらいました。

ブース2

大地震から自分の身を守ろう!

東日本地震の動画を見てもらい、自分の身に起きた時の初動について考えてもらいました。

ブース3

災害時に家族と防災計画を立てよう!

『みんなの防災ハンドブック』という本の中に書かれていた「7日間を自力で生きのびるために、すぐやるべき14のこと」というページを抜かし、それを見て各々で14項目のアンケートに答え、自分たちの意識を高めてもらいました。

ブース4

ライフラインが使えない! 災害緊急食クッキング! 知って備えよう

このブースでは「災害時の備蓄食として用意するのも大切ですが、身近なものを常日頃から用意していると災害時にも役立つよ!こんな食べ方でも美味しいよ!」というものを紹介しました。

全部ブースをまわると大体1時間くらいの研修となりましたが、皆さんとても真剣に取り組んでいました。テーマでもある自分の防災力を高めるためのきっかけになった研修だったと思います。研修の様子はみなと舎のHPにも写真や動画が載っているので見てみてください!

支援センターライフゆう支援主任：天野美香

